

1: -----
2: 第1回 地域型JPドメイン名再構築検討部会 議事録
3: -----

4: 日時: 2010年6月2日 16:05-17:55
5: 場所: JPRS会議室A
6: 参加: 検討部会委員 奥山徹、河北隆生、小林和真、佐野晋、芝勝徳、
7: (敬称略、五十音順) 曾根秀昭(電話参加)、中山雅哉、平出水充伸、
8: 本間誠治、三膳孝通、山口健太郎
9: JPRS事務局 深野哲洋、藤井清吾
10: 欠席: 検討部会委員 山本芳人
11: -----

12: アジェンダ

- 13: (1) アジェンダ確認
 - 14: (2) 検討課題の確認と課題対応の方向性
 - 15: (3) 地域型JPドメイン名登録者等への意見聞き取り方法と内容(案)
 - 16: (4) 今後の予定
- 17: -----

18: 会議資料

- 19: 1. アジェンダ
 - 20: 2. 検討課題の確認と課題対応の方向性
 - 21: 3. 地域型JPドメイン名登録者等への意見聞き取り方法と内容(案)
- 22: -----

23: 参考資料

- 24: A. 地域型JPドメイン名の課題
 - 25: B. 1993年10月号 UNIX magazine 「JPNICレポート2」
26: ドメイン名の割当て
 - 27: C. 1994年1月号 UNIX magazine 「JPNICレポート5」
28: 地域型ドメイン名の導入実験
 - 29: D. 2009年3月発行 JPNICニュースレターNo. 41 インターネット歴史的一幕
30: 地域型ドメイン名の実験プロジェクトから本格運用の開始まで
 - 31: E. 都道府県の地域型JPドメイン名とLG. JPドメイン名の利用状況調査
 - 32: F. 政令指定都市の地域型JPドメイン名とLG. JPドメイン名の利用状況調査
 - 33: G. 市町村数の遷移
 - 34: H. 汎用JPドメイン名の登録者内訳
 - 35: I. JPドメイン名累計登録数
- 36: -----

37: 会議内容

- 38: (1) アジェンダ確認

39: 特になし
40: 41: 42: -----

- 43: (2) 検討課題の確認と課題対応の方向性

44: 資料:2をもとに、検討課題の確認と課題対応の方向性を検討した。
45: 46: -----

- 47: 1. 現在の地域型JPドメイン名の課題

48: →以下の通り(9)(10)を追加した。

- 49: (1) ドメイン名が長くて使いづらい
- 50: (2) 1組織1ドメイン名の制約ため、属性型JPドメイン名を登録すると
51: 地域型JPドメイン名が登録できない(逆も同様に登録できない)
- 52: (3) 県名直下の登録ができない(市区町村以下への登録となる)
- 53: (4) 現在のニーズに合わなくなっており、新規登録数や累計登録数が
54: 減少している
- 55: (5) 組織や個人に対して割り当てられる地域型JPドメイン名の第3レベル
56: ドメイン名は、登録時の住所表記に基づいて定められるため、
57: 市町村合併などで住所表記が変更になり、存在しなくなった市町
58: 村区名も利用者からの変更申請がされなければ、そのまま使い続
59: けられる
- 60: (6) 汎用 JP ドメイン名の導入に伴い、新たに指定された政令指定都

61: 市名を第2 レベルドメイン名に使用できない事例が発生している。
62: このため、「city.<政令都市名>.jp」や「example.<区名>.<政令
63: 都市名>.jp」等が汎用JP ドメイン名で利用されているか地域型JP
64: ドメイン名で利用されているかを判別することができない
65: (7) 地方公共団体のWebページが、地域型JPドメイン名とLG. JPドメイ
66: ン名で混在しており判りづらい
67: (8) 地域型JPドメイン名は、登録者の住所に基づいたドメイン名しか
68: 割り当てられることはなく、想定利用者に向けた住所に基づいた
69: ドメイン名の割り当てを受けることはできない
70: (9) 県を統合する案(道州制)が出ているが、それを対応できる状態で
71: 無い
72: (10) 全ての市町村名に対する第3レベルドメイン名が存在している訳
73: でない
74:

75: 2. 課題対応の方向性

76: →以下の(A)～(C)の方向性について、それぞれ意見を確認した。

- 77: (A) [変更] 制度を緩和して使いやすくする
- 78: (B) [廃止] 新規申請の受付停止
- 79: (C) [継続] サービスを変更しない

80: →方向性(C) [継続] サービスを変更しない

- 81: ・賛成: 0名
- 82: ・(B)の廃止を選択するならば、(C)の方が良い: 1名

83: →方向性(B) [廃止] 新規申請の受け付け停止

- 84: ・賛成: 1名
- 85: ・賛成である。ただし、止めるくらいなら、そのまま続けてた方が
86: よいとの意見は理解できる。
- 87: ・この方針案を選択する最大の理由は、課題(6)にあると思う。新しく
88: できた政令指定都市名の地域型JPドメイン名が登録できないのは、
89: ルール自体が破綻していることである。破綻しているサービスを継
90: 続することに問題を感じる。

91: →方向性(A) [変更] 制度を変更して使いやすくする

- 92: ・地域型JPドメイン名の定義が必要と思われる。地域型JPドメイン名
93: の見直しとは、現在の地域型JPドメイン名を廃止して、汎用ドメイ
94: ン名の一部としてサービスを開始するのかと考えていた。
- 95: ・地域に密着した登録を優先させるかどうかで、地域型であるかどう
96: か変わると思う。住所要件を入れた場合は地域型と言えると思うし、
97: 登録要件を撤廃した場合は汎用化と言えるかも知れない。

98: 3. 「(A) [変更] 制度を変更して使いやすくする」の検討課題

99: →資料にある検討課題を参考に、制度変更の判断の軸を考えた。以下の
100: 3つを軸とする。

- 101: N1: 地域属性を必要とするか
- 102: N2: 1組織1ドメイン名の制限
- 103: N3: 地域への管理委譲について

- 104: ・課題A-5以降は、ドメイン名のラベルに関する課題やサービスの導入
105: 方法であるため、サービスの軸の決定後に検討することにする。

106: (3) 地域型JPドメイン名登録者等への意見聞き取り方法と内容 (案)

107: →聞き取り内容について

- 108: ・議題2でまとめたサービス検討の3軸について聞き取る
- 109: - 地域属性を必要とするか
- 110: - 1組織1ドメイン名
- 111: - 地域への管理委譲について

- 121: →資料の聞き取り対象以外に聞き取り対象を追加するか確認した。
122: ・現在の地域型JPドメイン名の登録者全員を聞き取り対象としたほうが
123: 良い。
124: ・取次ぎ業務を行っている指定事業者も対象にしたほうが良い。
125: ・変更後の地域型JPドメイン名の想定登録者は、現在の地域型JPドメイ
126: ン名の登録者はない可能性がある。登録者だけでなく、一般にも聞き
127: 取りの範囲を広げたほうが良い。
128:
129: →聞き取りの方法について
130: ・聞き取り対象にメールを送り、アンケートのWebページに誘導する方法
131: がよい。
132: ・登録者と一般の区別を付ける必要がある。登録者や指定事業者には、
133: メールで識別コードを知らせアンケートのWebページで、識別コードを
134: 入力して貰えばよい。
135: ・一般の利用者と変更後の地域型JPドメイン名の想定登録者の区別は難
136: しい。回答者の属性を尋ねる質問項目と共に、区別の方法も検討する。
137:
138: →聞き取りのスケジュールについて
139: ・聞き取り内容の詳細はMLで検討する。
140: ・アンケートのWebページ公開期間が短いと回答が集まらない。集計など
141: の作業を含めると、第3回の会議に間に合わない可能性が高い。
142: ・予備として第4回の会議を設定する。
143:
144: (4) 今後の予定
145: ・第4回を7月28日に設定する。
146:
147:
148:

以上